

NO. 215

全仏

2 / 51



僧伽の形式

今、世の人々は真剣に安らぎを求めて仏教に手をかざしている。それにもかかわらず仏教界、仏教団の、人々への働きかけは遅々として進まない。むしろ時代錯誤の感さえある。

各企業はこの不況に合同合併したり、合理化をすすめたりして対応している。また一般の人々は住宅の夢をみながら、住宅ローンの借り入れ金返済に首をしめられたりしているというのに、安穩なる仏教界はそれらの痛みすら感じていない。

慈悲と智慧を説く側に、人間の悲しみ、苦しみを理解しない態度があるようではどうしようもない。そこには人間がない。救い難い泥沼におちこんでいるようだ。私達は僧侶・坊主であることももう一度我が心に確認しよう。そしてより正しい僧伽を形成していかねばならない。

(M・T)

写真は第一回ブダガヤ結集に参加した各国僧侶団の行列

|| 4面記事参照 ||

昭和51年2月1日

全仏の新役員きままる

会長には大谷光暢法主

全日本仏教会では任期満了に伴う役員改選のため、一月二十九日午後一時半より、東京・芝のソートビル（東京グラントホテル）において評議員会を開催し、会長に真宗大谷派・大谷光暢法主、副会長に高野山真言宗・高峰秀海管長、日蓮宗・望月日滋管長、花山信勝東大名管教授を推戴した。また理事長には曹洞宗・田辺哲崖宗務総長が就任した。

評議員会は議長に浅井堅教師（真言宗豊山派）を選出、議事に移り、まず理事・監事の選出について、議長提案により選考委員十一名を指名、別室にて選考の結果、理事四十一名、監事二名を選出。ひき続き理事会を開催し、理事長に田辺哲崖師、常務理事二十一名を選出した。――新役員は次の通りである――

- 田中 俊晃（〃〃）
- 赤沼 義俊（〃〃）
- 長谷川真元（天台真盛宗）
- 南谷 惠澄（和宗）
- 塚原 徳心（〃〃）
- 吉田 秀映（〃〃）
- 青木 法鷹（妙見宗）
- 四宮 正音（孝道教団）
- 加藤 欣司（〃〃）
- 若月 正真（〃〃）
- 清水孝尚（聖観音宗）
- 塩入 亮達（〃〃）
- 田中 昭徳（〃〃）
- 長谷川雲信（念法真教）
- 一瀬 良寛（〃〃）
- 橋爪 良恒（高野山真言宗）
- 稲葉 義猛（〃〃）
- 北川 智城（〃〃）
- 寿山 良知（〃〃）
- 福崎 興宣（〃〃）
- 藤田 俊教（真言宗泉涌寺派）
- 川原 快俊（真言宗山階派）
- 立部 瑞祐（真言宗御室派）
- 味岡 良戒（真言宗大覚寺派）
- 阿部 本宣（真言宗善通寺派）
- 別所 弘因（真言宗智山派）
- 小沢 照禱（〃〃）
- 板橋 宥成（〃〃）
- 茂木 隆心（〃〃）
- 浅井 堅教（真言宗豊山派）
- 中川 祐俊（〃〃）
- 久保登太清（〃〃）
- 吉田 俊普（〃〃）
- 森 弘之（新義真言宗）
- 岩城 秀雄（真言宗醍醐派）
- 仲田 順和（〃〃）
- 足立 有教（真言宗国分寺派）
- 小池 義人（真言宗須磨寺派）
- 池田 瑩輝（真言宗中山寺派）
- 伊丹 光淳（本山修験宗）
- 稲岡 寛順（浄土宗）
- 野村 宗春（〃〃）
- 梶原 重道（〃〃）
- 古屋 道雄（〃〃）
- 水谷 激道（〃〃）
- 野中 純道（〃〃）
- 白井 文祥（〃〃）
- 金田 明進（〃〃）
- 山本 勝隆（浄土宗西山深草派）
- 丹羽 観堂（浄土宗西山禅林寺派）
- 土井 敏照（西山浄土宗）
- 佐藤 弁学（〃〃）
- 神田 寛雄（浄土真宗本願寺派）
- 藤前 東時（〃〃）
- 藤音 晃祐（〃〃）
- 鎌田 憲英（〃〃）
- 永野 鎮雄（〃〃）
- 麻布 照海（〃〃）
- 榎藤 明哲（〃〃）
- 北島 経昭（〃〃）
- 嶺藤 亮（真宗大谷派）
- 大友 譲（〃〃）
- 本多 敬虔（〃〃）
- 和田 耕作（〃〃）
- 清 亮（〃〃）
- 能邨 英士（〃〃）
- 宮部 幸麿（〃〃）
- 花山 頭勝（真宗高田派）
- 小倉 光照（〃〃）
- 高橋 香苗（真宗興正派）
- 苗村 彦激（真宗仏光寺派）
- 遍照 輝心（真宗三門徒派）
- 菅原 茂俊（真宗出雲路派）

(真宗山元派)

波多野晴浄(真宗誠照寺派)

浅井 自香(真宗木辺派)

山崎 義天(時宗)

倍藏 良舜(融通念仏宗)

江西 寛堂(臨濟宗妙心寺派)

後藤 純一(〃〃)

竹中 玄鼎(〃〃)

梶田 泰賢(〃〃)

来山 泰龍(〃〃)

○神村 拙底(臨濟宗建長寺派)

加藤 大憲(臨濟宗円覚寺派)

○桜井 景雄(臨濟宗南禅寺派)

壬生 滋雄(臨濟宗永源寺派)

真神 峻藏(臨濟宗建仁寺派)

田原 周仁(臨濟宗天童寺派)

御山 文雄(臨濟宗向獄寺派)

○田辺 哲暈(曹洞宗)

○芳賀 達宗(〃〃)

○町田 宗夫(〃〃)

大竹 明彦(〃〃)

松原 太流(〃〃)

森田 彦英(〃〃)

岸野 恭順(〃〃)

佐藤 正道(〃〃)

○奥田 行朗(黄檗宗)

○渡部 公允(日蓮宗)

三井 宣雄(〃〃)

風間 円静(〃〃)

伊藤 勝淳(〃〃)

中野 顕文(〃〃)

星野 勉温(〃〃)

芹沢 泰寛(法華宗本門流)

水本 大岳(法華宗陣門流)

吉田 勝秀(法華宗真門流)

加藤 日類(本門仏立宗)

土持 良栄(顕本法華宗)

増田 宏雄(本門法華宗)

徳田 明本(律宗)

喜多 亮快(真言律宗)

生駒 昌胤(法相宗)

榊田 秀山(聖徳宗)

北河原公典(華嚴宗)

国定 浄運(真言三寶宗)

野沢 密敵(信貴山真言宗)

西瀬 正男(北海道仏教会連盟)

赤平 昌導(青森県仏教会)

上館 馨文(岩手県仏教会連盟)

板垣 隆寛(山形県仏教会)

竹市 文成(群馬県仏教会連合会)

○黒田 白純(栃木県仏教会)

鱧淵 正浩(〃〃)

○石川 隆惇(埼玉県仏教会)

北之内真龍(〃〃)

○熊野 龍夫(千葉県仏教会)

○栗本 俊道(東京都仏教会連合会)

郡司 博道(〃〃)

村瀬 博道(〃〃)

○貝山 宣泰(神奈川県仏教会)

小沢 省元(〃〃)

○土田 真也(新潟県仏教会)

藤井 尊順(石川県仏教会)

(福井県仏教会)

井村 胤広(山梨県仏教会)

丸山 宗隆(長野県仏教会)

○大石 好文(岐阜県仏教会)

○小倉 日宝(静岡県仏教会)

笠井 照道(〃〃)

桑山 春山(愛知県仏教会)

村瀬 良彦(〃〃)

高島 広勝(三重県仏教会)

木辺 宣慈(滋賀県仏教会)

○横井 鶴洲(京都府仏教会)

○川口 良信(大阪府仏教会)

○佐藤 覚雄(兵庫県仏教会)

池田 泰道(和歌山県仏教会)

福郷 宗悦(鳥根県仏教会)

華山 惠光(岡山県仏教会)

渡 慈秀(徳島県仏教会)

松下 教道(香川県仏教会)

横山 玄秀(高知県仏教会)

○花田 英忠(福岡県仏教会連合会)

植松 威(朝日生命仏教研究会)

壬生 照順(近代仏教研究会)

田中 香浦(国柱会)

桜井 栄章(国際仏教伝道会)

友松 諱道(真理運動本部)

○山本 杉(全日本仏教婦人連盟)

船口 暉子(〃〃)

増田 貞円(全日本仏教青年会)

○中山 理々(日本仏教讃仰会)

福井 豊信(日本仏教保育協会)

富高 行保(日本山妙法寺大僧伽)

(東日本詠歌道連盟)

河合 智海(梵人会)

小熊 寛澄(仏教徒政治同盟)

内田 康人(善光寺)

巖谷 勝雄(国際仏教興隆協会)

竹村吉右衛門(仏教振興財団)

川島 宏之(東京ブティストクラブ)

寒中御見舞

神奈川県仏教会

総 裁 岩 本 勝 俊

会 長 貝 山 宣 泰

副 会 長 小 沢 省 元

同 柴 田 敏 夫

同 小 崎 竜 雄

同 小 崎 竜 雄

事務局長 小 崎 竜 雄

事務局 神奈川県鎌倉市小町1の12の12

本覚寺内(〒248)

電話〇四六七二二一〇四九〇

東南アジアでの三つの行事



日本の歴史に残るような国鉄の長期ストの最中に、舞台を東南アジアに移し、タイ、バンクラディシュ、インドにおいて諸行事が行なわれた。十二月一日インド仏跡巡拝団が出発。三日には清胤徹昭全仏国際文化局長、鎌田良昭国際常任理事会、五日タツカの孤児院救済金伝達へ出発した。七日はブダガヤの日本寺へ、竹村教智全仏副会長（智山派）をはじめ、巡拝団、清胤、鎌田の両師等多数が参集し「第一回ブダガヤ結集」が執行された。

【写真はバンコクで開かれたWFB常任理事会】

各国僧団の行列続く

第一回ブダガヤ結集

幾多の苦難を克服してブダガヤに建立された日本寺において、十二月七〜九日の三日間「第一回ブダガヤ結集」が、主催・国際仏教興隆協会、後援・全日本仏教会のもとに開催され、多数の国際仏教徒が参集した。

午前八時半に大塔の前を、楽隊、チベ

ット僧団、日本僧団、南方各国比丘団の行列が出発。広大なガヤの田園に韻々となりひびく日本の鐘の音とともに、竹村教智親下大導師のもと法要が厳修され、随喜出任の真言宗智山派僧侶の誦経がつづく。終って南北比丘のパリッタ誦誦、チベット僧の誦経が鳴物入りでにぎやか

におこなわれた。

開会式では国際仏教興隆協会・厳谷勝雄理事長の挨拶、イ

ンド大菩提会事務総長・ビハール州知事などの祝辞のあと、ビハール州知事より竹村親下に仏舍利が贈られ、竹村親下は「京都の総本山智積院金堂へ安置し、日

11回大会中心に討議

WFB常任理事会

印西国仏教親善に寄与したい」と答えた。つづいて清胤局長より大仏旗が同知事に贈られ万場の拍手をうけた。

八日〜九日は葉上照澄先生の基調講演にもとずき、各国仏教徒の有意義な意見交換がなされるなど実のある大会であった。（一部一月号と重複）

十二月四日、タイ国バンコク市のWFB本部においてWFB常任理事会が開かれ、日本より清胤代表、鎌田オブザーバーが出席、プーン会長挨拶のあと議事にはいった。

一、WFBバンクラセンターについて
現在バンクラディッシュには二つのセンターがあり、問題がこじれているとの報告あり。

二、無政府仏教団体について
台湾問題についてユネスコに書簡を送ったが未だ回答がない。WFBとしては台湾を除名する根拠、権限もないので回答を待つこととなった。

三、WFB本部会計報告
未納支部が多数あるため督促状をだすように要望し承認。

四、WFB第十一回大会について
概報どおり二月二十日より二十五日までバンコックで開催される。国内事

情によりフィリピン、ビルマなど数か国は欠席とのこと。テーマは日本側の強い要望があり「近代社会における仏教徒の役割」と決った。なお大会組織委員会委員長には前首相サシヤダルマ・サクテイ氏が就任する。

五、新加盟申請について
申請書の完備しているフランス・ベトナム協会とリンソン仏教文化協会の二団体を総会に推せんする。

六、WFBYについて
後任の事務総長選任について話しあわれた。

七、ルンビニー開発計画について
スリランカなどが積極的に行動しているとの報告があった。

八、第十二回大会開催地について
日本では是非開催してほしいとの要望がだされた。

九、その他

総額八百万円を贈る

— バングラ孤児救援金

バングラディッシュ孤児救援金は多くの方々の善意により目標額五百万円を大きく上まわり八百万円余となった。第一次金として五百三十万円を六月に伝達したが、このたび清胤局長、鎌田部長が残金二百六十万円を持ってバングラディッシュを訪れた。

十二月五日ダッカ空港に到着、まず日本大使館へ挨拶、今西臨時代理大使と懇談した。大使は「最近の情勢は落着いているが、クーデターの時は街中で撃ち合



バングラで清胤（左）と鎌田両氏

いがあり恐ろしい場面に遭遇した」と語ってくれた。午後にはダンマラーチカ仏教孤児院へ救援金を贈呈し大いなる感謝を受けた。

この日本の救援金により、現在の建物の上にレンガ造りの建物が急ピッチでつくられている。計画としては四階建のものにするとのことであるが、完成すればかなりの数の孤児を収容できるものと期待している。それにしても孤児院にいる子供たちは

辛かせな方で、それ以上の悲惨な子供たちには一瞬目をそむけさせるものがある。孤児院のすぐ隣りにある竹小屋には丸裸同然の子供たちがいるが、彼等には親はいても生活能力がなく、毎日こへつれてこられ食事を食べさせてもらい、夕方には町へ帰されるという。皆一様にヤセ細っていて、中にはかなりひどい皮膚病に苦しんでいる子供もいる。まるで猿の子のように目玉だけが大きく、骨と皮といった幼児をみるにつけ、その惨状に胸が一杯となる。プツムサラナムカツチャーミー……と明るく唄う孤児達の中から将来のバングラを背負うものが一人でも出てほしいと祈らずにはいられない。

清胤 開会式は一般の人も含めて盛大にやろうと、それにはWFB本部では狭いので別の会場という話もでていたね。

清胤、鎌田両氏に聞く現地の模様

救援金に大よろこび

盛会だった初の結集

滝文化部長 どうもご苦労さまでした。目的が三つあったから大変だったでしょう。

鎌田国際部長 そうですね、一つはタイにおけるWFBの常任理事会と、それからバングラディッシュに孤児救援金をもっていくこと、もう一つはインド日本寺における結集ですね。

滝 それではWFBの常任理事会のお話を伺いましょうか。

鎌田 二月の世界大会（第十一回大会）にむけての話が中心だったわけですが、その運営方法とかテーマについてですね。

滝 まずテーマはどうです。
鎌田 「近代社会における仏教の役割」

という提案があったわけですが、日本としては、仏教徒がいかに役割をもつかということが大切だと強調し「近代社会における仏教徒の役割」ということになりました。

清胤 清胤文化局長 最初はブディズムというんで、仏教そのものだから、そういう抽象的なものでなく、私が何をやるのか、仏教徒そのものが近代社会で何をしなければいけないのか、そういう具体的なものをやるうではないかというところを要望したわけですよ。

滝 日程、運営などにつきましては。
鎌田 二月十九日に常任理事会、二十日にはWFB創立二十五周年の記念式典をやり、二十一日から大会になるわけです。

清胤 開会式は一般の人も含めて盛大にやろうと、それにはWFB本部では狭いので別の会場という話もでていたね。

鎌田 ただフィリピン、カンボジア、ベトナムなどは政治事情で参加できないといっています。それから現在のところ（十二月四日）では代表五十一、オブザーバー六十四、その他で合計は五三十六名という報告がありました。

滝 こまかい点については……
清胤 それはこれから検討されていくんでしょなア。

鎌田 前もって議案を提出せねばいかんと思うんですが、それはまだですね。
滝 第十二回大会についての話はできましたか。

昭和51年2月1日

清胤 日本でやってほしいという要望であつたが、それには答えられないので皆さんのご意見を伝えましようといつてきたよ。

滝 その他の議事としてはどんなことが話しあわれたんですか。

鎌田 バングラセンターの問題がありましたが、二つの団体があつてもめていくわけですよ。

清胤 同じ名前で行っているからこじれるわけなんだな。我々としてはどっちが正しいとはいえんわけですよ。

鎌田 無政府仏教団体をどうするかというところで台湾問題もでしたが、前回の理事会でユネスコに伺い書を出しているんですが回答がないわけですよ。ところが二月の大会にはすでに台湾の申込があるんですよ。

滝 中国はどうなんですか。

鎌田 現在加盟してないです。台湾が加盟してまずから……。そういう政治の谷間はむずかしいです。あとは会計の件と加盟申請の件などがありました。

悲惨なる子供たちで 町の中はいっぱい

滝 内容豊富で大変だったと思います。が、それ以上とおもわれるバングラデイッシュはどうでしたか。

清胤 いや、ものすごくよるこんでくれたねエ。

滝 第一次は五百三十万円贈呈し、こんどは残金をもっていったんですね。

清胤 総計で八百万余です。とにかくこの金にすると五十倍だそうだから四千万円ぐらいだね。行ったら工事中だったよ。

滝 どんな建て方ですか

清胤 鉄筋のレンガだけど、セメントが高くて困っていたね。早く部屋がほしいので、とりあえず現在の建物の上につくっている。子供はいくらでもいるんだから……。

滝 どんな生活なんですか。

清胤 とにかくひどいよ。早くいえば土間に寝てる、そういう感じだよ。

鎌田 竹のほつ立小屋の中にいる子供はもっと悲惨ですよ。(実感がこもる)

滝 それは孤児院以外ですか。

清胤 そう、孤児院の子供たちはまだ着るものを着、食べるものを食べているからね。町の中にはひからびてうろろしている子供がいっぱいいるわけよ。それは悲惨だ。その小屋ではフランス

の娘さんがいてボランティア活動してたが、よくやってたね。

鎌田 孤児院は当初は広い土地へつくる計画だったわけですが資材が高くなり困っている状態でした。

滝 援助は日本だけですか。

鎌田 他に援助があるかと聞いたんですが、奇特な方もいるが総合的にやってくれているのは日本だけだといつてました。

滝 なせ食しいんですかねエ。

清胤 人口だろうね。かつてベングルの詩人といわれたタゴールは「黄金の大地」といっているが、その土地がどうして飢えてきたかという、洪水という一時的なものより、爆発的な人口増加だと思うね。

鎌田 私もそう思いますね。

清胤 許容量を超えているだろうねエ。

鎌田 結局、不作ではないんですよ。サイクロンで国土の三分の二が水没したんですが、それ以上人口増加が理由であつて、それに対する教育がないからどうしようもないわけですね。

滝 それに対する教育というのは、

清胤 おくれて

るんだよ。人口問題も治山治水も……そこには遠くおよばん感じがしたね。

滝 まだまだ問題の多い国ということですねエ。それでは三番目の日本寺での第一回結集についてのお話を……。

清胤 日本寺の方は、お寺が建立され盛大な法要があつたわけですが、それ以来ということで智山派(全仏副会長)の竹村猷下を導師ということで執行されたわけですね。その日本寺の事業として保育施設をつくらうということでは仏教保育連盟がやっていますね。

鎌田 日本寺のわきに広大な土地があるわけですよ。そこに保育園をつくらうということですね。

清胤 日本寺とお悟りの地ブダガヤの大塔の間に小さな村があるんだが、我々は裏道を通っていったので、はからずもその村を横切ることになったわけだが、横着をしたのがさいわいしてか、おもいがけず村の中をみることもできたわけだが、まあ貧困なんでもんじゃないんだよ。そりゃひどいもんだつたよ。原始そのものという感じで、その子供たちの惨めというか、まずしい姿はひどいもんだよ。そういう子供を対象に保育園をやるかどうか知らんがそんなるといふと思うんだがな。

滝 戦争動乱、洪水、地震などで多くの子供たちが飢えや病気で苦しんでいるアジアの姿というものを聞かされたような気がしますが、そういう保育施設がたくさんできるといいですね。いろいろとて苦労さまでした。



皮膚もカサカサなバングラの坊や

第23回全日本仏教徒会議兵庫大会決算書

一金	3,500,000円	収 入 予 算 高
一金	3,390,000円	収 入 決 算 高
一金	3,500,000円	支 出 予 算 高
一金	3,358,131円	支 出 決 算 高
一金	11,869円	収 入 支 出 差 引 残 高

昨年十月一、二日の両日、神戸市において開催された第二十三回全日本仏教徒会議兵庫大会の収支決算は別表のとおりである。

第23回全仏兵
庫大会決算書

収 入 の 部

項 目	予 算 額	決 算 額	対 予 算 額		付 記
			収入超過額	収入未済額	
1. 全仏拠出金	2,500,000円	2,500,000円	0円	0円	組織局費より
2. 特別協賛金	1,000,000	890,000	0	130,000	18宗派本山他(別表)
収 入 合 計	3,500,000	3,390,000	0	130,000	

支 出 の 部

項 目	予 算 額	支 出 済 額	流 用 額 ○増 △減	予 算 不 用 額	付 記
1. 事 務 局 費	450,000円	456,876円	○ 6,876円	0円	10項より流用
2. 旅 費	400,000	407,000	○ 7,000	0	10項より流用
3. 宿 泊 費	400,000	367,110	0	32,890	
4. 会 議 費	100,000	79,630	0	20,370	
5. 通 信 費	100,000	89,915	0	10,085	
6. 印 刷 費	100,000	67,600	0	32,400	
7. 宣 伝 費	200,000	180,000	0	20,000	
8. 幹 事 謝 礼	200,000	210,000	○10,000	0	10項より流用
9. 兵 庫 県 仏 助 成 金	1,500,000	1,500,000	0	0	
10. 予 備 費	50,000	0	△23,876	26,124	1、2、8項へ流用
計	3,500,000	3,358,131		141,869	

特 別 協 賛 金 一 覧

1	念 法 真 教	200,000円	11	天 台 宗	30,000円
2	曹 洞 宗	50,000	12	真 言 宗 国 分 寺 派	30,000
3	浄土真宗本願寺派	50,000	13	妙 見 宗	30,000
4	真 宗 大 谷 派	50,000	14	三 重 県 仏 教 会	30,000
5	浄 土 宗	50,000	15	高 野 山 真 言 宗	20,000
6	日 蓮 宗	50,000	16	国 際 仏 教 興 隆 協 会	20,000
7	和 宗 四 天 王 寺	50,000	17	真 宗 仏 光 寺 派	10,000
8	孝 道 教 団	50,000	18	日 本 仏 教 保 育 協 会	10,000
11	真 言 宗 豊 山 派	30,000	19	飾 鉢	100,000
10	真 言 宗 智 山 派	30,000		計	890,000

全仏常務理事会開く

補正予算などを審議



それ年度途中より加盟につき、五十年度は半額負担金を納入してもらおうことになり承認。

議案第三号 「役員改選期について」

事務局原案通り承認。

議案第四号 「昭和五十年年度歳入歳出補正予算について」

承認（別掲参照）

議案第五号 「昭和五十一年度事業計画について」

檀信徒会、未加盟県仏の加盟促進を考へて、原案通り承認。

議案第六号 「昭和五十一年度歳入歳出予算について」

原案一部修正のうえ承認。

議案第七号 「職員給与改正」

承認。

議案第八号 「事務局職員補充について」

全仏事務局 篠山真弓 新任

関西事務局 八橋秀雄 退任

井上承爾 新任

議案第九号 「世界仏教徒会議日本大会開催について」

予算を伴う非常にむずかしい問題であり早急に簡単に決められる問題ではないので、本件保留にして、もっと研究すべきである。

議案第十号 「全国寺院名鑑頒布金の処分について」

刊行会解散に伴い、五十セツト寄贈された名鑑の頒布金九十万円を基金に繰入れることで承認。

（出席者・順不同敬称略）神田寛雄、嶺藤亮、宮部幸麿、稲岡寛順、江西寛堂、別所弘因、貝山宣泰、大石好文、木村光頭

（委任状）近藤本昇、浅井堅教、岡野正道、栗本俊道、山本杉、野村宗春

【写真は開かれた常務理事会】

宗務総長会議も開く

十二月二十二日、常務理事会終了後、会場を西本願寺門信徒会館に移し、宗務総長会が開催された。

協議事項

○昭和五十一年度事業計画について

○世界仏教徒会議日本大会開催について

○十一月十九日（月）午後一時より京都・真言宗智山派総本山智積院宸殿において、十大宗派宗務総長会を開き、更にすずんで研究審議することとなった。

出席者は左記の通り（順不同敬称略）

青木法麿（妙見宗）・近藤本昇代理北川（高野山真言宗）・阿部本宣（真言宗善通寺派）・別所弘因（真言宗智山派）

・立部瑞祐（真言宗御室派）・川原快俊（真言宗山階派）・近藤彰範（真言宗国分寺派）・池田登輝（真言宗中山寺派）

・稲岡寛順（浄土宗）・丹羽観堂（浄土宗西山禅林寺派）・山本勝隆（浄土宗西山深草派）・波元明信（融通念仏宗）

・神田寛雄（浄土真宗本願寺派）・嶺藤亮（真宗大谷派）・代理（真宗興正派）

・浅井自香（真宗木辺派）・江西寛堂（臨濟宗妙心寺派）・喜多亮快（真言律宗）

・北河原公典（華嚴宗）

かねてより加盟申請の出されていた信貴山真言宗ならびに真言三宝宗は、常務理事会でその加盟が承認され、正式に全日本仏教会加盟となった。両宗の概要は左記の通り。

これにより全日本仏教会加盟数は宗派六十四、県仏三十六、団体十八、計百十八となった。

信貴山真言宗

宗務庁 奈良県生駒郡平群町信貴畑二二八〇番地

管 長 鈴木風永

宗務長 野沢密藏

総本山 信貴山朝護孫子寺

包括寺院数 三十二カ寺

真言三宝宗

宗務所 兵庫県宝塚市米谷清シ志番地

管 長 坂本光聡

宗務長 国定浄蓮

大本山 清澄寺

包括寺院数 六カ寺

二宗派が全仏加盟

信貴山真言宗

真言三宝宗

全日本仏教会常務理事会は、十二月十二日午前十時三十分より、京都西本願寺飛雲閣において開催された。上程された諸議案についてそれぞれ慎重に審議を重ね、左記の通り決定された。

議案第一号 「信貴山真言宗ならびに真言三宝宗加盟申請について」

かねてより申請のあった信貴山真言宗ならびに真言三宝宗の加盟について審議し、万場一致で承認。（別掲参照）

議案第二号 「新加盟団体負担金について」

真言宗須磨寺派、中山寺派、本山修験宗、真言三宝宗、信貴山真言宗は、それ

昭和50年度 財団法人全日本仏教会歳入歳出 補正予算

歳入	金	693,194円	歳入予算補正額	歳出	金	693,194円	歳出予算補正額
	金	41,257,000円	歳入既定予算額		金	41,257,000円	歳出既定予算額
	金	41,950,194円	歳入補正予算額		金	41,950,194円	歳出補正予算額

歳入歳出差引残額なし

歳入の部

科 目			既 定 額	補 正 額 ○増 △減	計	付 記
款	項	目				
未納徴収金			800,000円	△ 300,000円	500,000円	
繰越金			600,000	○ 993,194	1,593,194	昭和49年度決算剰余金
歳 入 計			41,257,000	○ 693,194	41,950,194	

歳出の部

科 目			既 定 額	補 正 額 ○増 △減	計	付 記
款	項	目				
1. 事務総局費		円	26,182,000円	△1,700,000円	24,482,000円	
	1. 人件費		14,302,000	○ 700,000	15,002,000	
		2. 諸 給	5,949,000	○ 300,000	6,249,000	自50.11月 庶務受付係採用による
		4. 退職積立金	600,000	○ 400,000	1,000,000	
	2. 事務費		5,940,000	△1,800,000	4,140,000	
		2. 通信費	3,000,000	△1,700,000	1,300,000	郵税据置による
		4. 光熱費	350,000	△ 100,000	250,000	電気料直接払込による
	3. 旅 費		2,100,000	△ 600,000	1,500,000	長距離出張減
2. 総務局費			3,600,000	○ 250,000	3,850,000	
	1. 会議費		1,350,000	○ 200,000	1,550,000	
		4. 諸会議費	400,000	○ 200,000	600,000	会議数増
	3. 調査研究費		250,000	○ 50,000	300,000	宗教年鑑値上り
3. 組織局費			4,300,000	0	4,300,000	
	1. 組織強化費		3,500,000	○ 400,000	3,900,000	
		2. 国内仏教徒 会 議 費	2,500,000	○ 400,000	2,900,000	51.5月開催 三重大会準備打合せ
	2. 時局対策費		800,000	△ 400,000	400,000	
4. 国際 文化局費			6,350,000	○ 250,000	6,600,000	
	1. 国際運動費		2,350,000	○ 200,000	2,550,000	
		2. 国際仏教 交 流 費	450,000	○ 200,000	650,000	孝道教団よりの 指定寄付金増
	2. 文化会議費		1,400,000	0	1,400,000	
		1. 文化会議費	900,000	△ 180,000	720,000	
		2. 紀要作成費	500,000	○ 180,000	680,000	
	3. 教化費		200,000	○ 50,000	250,000	
		1. 教化諸費	200,000	○ 50,000	250,000	各宗派 教化担当者会議費
6. 予備費			725,000	○1,893,194	2,618,194	
歳 出 計			41,257,000	○ 693,194	41,950,194	

神奈川県仏教会

神奈川県仏教会は傘下に川崎市仏教会（三地区仏教会連合）と横浜市仏教会連合会（十二地区仏教会連合会）の二つと、その他三十五地区仏教会、寺院数にして千八百力寺あり、その中には総持寺、平間寺（川崎大師）、清浄光寺（遊行寺）、建長寺、円覚寺、光明寺

など数々の本山を擁する文字通りの大世帯に成長した。

県 仏 紹 介

財政規模も年々拡張し、昭和五十年には会費の値上げ（川崎・横浜市内年千五百円、その他の市内千二百円、郡部千円）に伴って、年額約二百五十万円の経常支出予算を組むに至った。また本会では近い将来、本会の財団化と県仏会館の設立をめざして「神奈川県仏教化財団特別会計」の名目で現在約九百万円の基金を積立てており、神奈川県寺院教会相互援助組合（加入寺院数九百力寺）も約二千四百万円の資金を保有しているなど、財

財団化、県仏会館設立へ

傘下の寺院、千八百余の大世帯

政的基盤は固まりをみせてきている。事業活動としては、恒例の釈尊成道会仏教徒大会、県仏寺院婦人会、県仏史跡行脚、宗教学人実務研修会のほかに、今年度からは税務講習会、青年会活動の援助などが加り、慈善活動も活発に行なわれつつある。

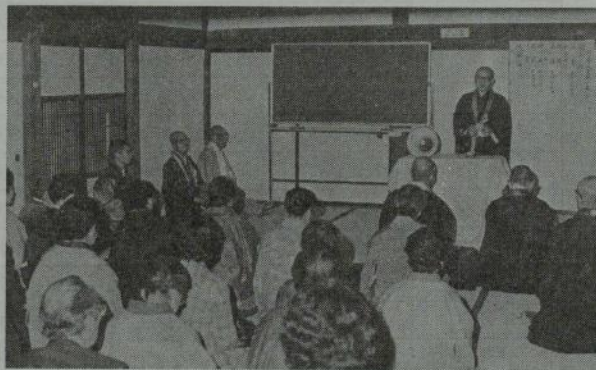
総じて今日これだけのまとまりと拡充をみせているのは、前会長高橋隆天親下（平間寺）をはじめとする諸先輩各師の大変な労苦が結晶したものであることはいうまでもない。それだけに今後の組織充実と活動拡大には以前に

倍する努力が必要とされるわけで、現会長貝山宣泰師は、第三十号を迎えた本会機関紙「仏教神奈川」の紙上で、『令法久住』（法をして久しく住せしむ）の言葉を引用し「法は不滅なりと言ふべきものを敢えて久住せしむとあるのは、恐らく不断の宗教活動と責任を明らかにしたものと考えざるを得ない」と会員一同の自省と奮起をうながしている。

青年僧侶の活動も再び盛上りをみせ昨年十月「神奈川県仏教青年同友会」の名で新組織を発足させたが、青年僧

侶達へのみ期待を寄せ、現在の県仏組織の維持確保にあまざることなく拡大充実していく組織を、現代の社会に向けてどう生かしていくかというところが、本会に課せられたこれからの課題であるといえそうである。

動には大きな期待がかけられる。釈尊成道会仏教徒大会 毎年恒例となっているこの大会は、十一月八日鎌倉の光明寺において開催され、会員および檀信徒多数が出席し大盛況であった。法話のあと宮城まり子の主宰する身体障害児童の療養施設「ねむの木学園」の紹介と映画「ねむの木の詩」に感動し有意義な一日をおくった。



県仏寺院婦人会

第四回県仏寺院婦人会は十月二十八日、曹洞宗大本山総持寺を会場にして開催、五十名が参加した。貝山静子会長を議長に婦人だけで会議を行ない、今後の活動方針を討議した。特にその中で日本一の更生率を誇る県内の青少年更生施設「仏教慈悲徳学園」の援助活

県仏史跡行脚

第十八回目をむかえるこの行脚は、昨年度から県外に足をのばし、本年度は西伊豆松崎町周辺から、南伊豆下田周辺を歩き文化財、風習などを研修した。

主な会務報告

- 4・19 税務講習会（全仏講師派遣）
 - 4・21 台湾・香港仏教会親善訪問へ
 - 5・10 県慰霊祭（県慰霊堂にて）
 - 6・2 関東甲信越静ブロック会議を当番県として開催
 - 7・16 関東甲信越静地区宗教法人実務研修会へ出席（於・新潟）
 - 10・1 第23回全仏兵庫大会へ参加
 - 10・22 神奈川県仏教青年同友会発会
 - 10・28 第4回県仏寺院婦人会
 - 11・8 釈尊成道会仏教徒大会
 - 11・19 第18回県仏史跡行脚（伊豆）
- 【写真は鎌倉の光明寺で行なわれた釈尊成道会仏教徒大会】

第11回WFBタイ大会へ

日本代表団19日出発

WFB創立二十五周年記念・第十一回世界仏教徒会議タイ大会への日本代表団員は次の三団によって構成され、二月十九日東京と大阪から出発しバンコクに入る。二十日の開会式は二十五周年記念式典とあわせ盛大に行なわれる。

理事 事 団

代表

鱒 測 正 浩 全仏事務総長

淨 土 宗 淨 鏡 寺 栃 木 県 宇 都 宮

摩 尼 清 之 文 化 専 門 委 員

高 野 真 言 觀 成 寺 横 浜 市 港 北 区

オプザーバー

加 藤 海 晃 全 仏 局 長

日 蓮 宗 妙 藏 寺 埼 玉 県 川 口 市

松 涛 弘 道 国 際 専 門 委 員

淨 土 宗 近 竜 寺 栃 木 県 栃 木 市

松 本 貞 竜 大 阪 市 仏 理 事

本 願 寺 派 真 願 寺 大 阪 府 住 吉 区

清 胤 徹 昭 全 仏 前 国 際 局 長

本 願 寺 派 築 地 本 願 寺 内

事務局

鎌 田 良 昭 全 仏 国 際 部 長

天 台 宗 地 福 寺 埼 玉 県 和 光 市

(団員—ポロブドル団)

武 田 慧 照 大 谷 派 真 行 寺

埼 玉 県 川 越 市

興 惇 明 曹 洞 宗 興 善 寺

五十嵐 意 承

小 俣 文 栄

川 口 良 信

池 田 瑩 輝

新 間 智 照

木 村 幸

河 村 純 一

河 村 貞 子

安 部 ヨ シ

服 部 賢 準

大 矢 契 輪

土 佐 舜 成

小 俣 昌 雄

小 俣 香 唇

後 藤 秀 弘

埼玉県白岡町

聖観音宗浅草寺内

東京都台東区

淨土宗 西念寺内

神奈川県真鶴町

高野真言宗全興寺

大阪府平野区

中山寺派成就院

兵庫県宝塚市

日蓮宗 妙法華院

兵庫県神戸市

大谷派 養蓮寺内

東京都台東区

河村医院

滋賀県彦根市

淨土宗 安楽寺内

神奈川県小田原市

曹洞宗 明忠院

名古屋市緑区

曹洞宗 東昌寺

名古屋市緑区

淨土宗 阿弥陀寺

神戸市東灘区

淨土宗 行慶寺

東京都品川区

〃

東北大名督教授

小 沢 牧

小 沢 昌 弘

滝 真 澄

(事務局)

(団員—スリランカ団)

安 井 勝 竜

河 野 亮 永

志 村 慎 吾

奈 良 賢 太 郎

満 岡 経 真

上 田 理 憲

上 田 竜 憲

本 多 円 亮

横 田 正 信

七 尾 マ サ ノ

吉 田 睦 子

押 柄 政 一

藤 並 照 子

仙台市向山

妙心寺派海清寺

兵庫県西宮市

建長寺派東光禅寺

横浜市金沢区

全仏文化部長

大谷派 養蓮寺

東京都台東区

法華宗 日泰寺

札幌市中央区

天台宗 東泉寺

埼玉県浦和市

建長寺派金竜祥院

横浜市金沢区

日蓮宗 妙宗公論

横浜市港北区

高野真言宗観音寺

兵庫県津名郡

真言智山派観藏院

東京都練馬区

真言智山派宝性寺

東京都世田谷区

大谷派 教恩寺

大阪府生野区

本願寺派常福寺

大阪府住之江区

大谷派 光明寺

大阪府生野区

真言御室派

京都市伏見区

大阪府住之江区

大谷派 仏乗寺

寒中御見舞

京都仏教徒会議

事務局長 五十嵐 隆 明

京都市東山区大和大路通三条下
千05 養福寺内
〇七五(五六)二九九〇

大阪府生野区

矢野 伊佐吉 大阪府東住吉区

宮林 和彦 横浜市南区

頼富 本宏 真言東寺派

神戸市灘区

佐藤 密雄 淨土宗 高德院

〃

佐藤 コマ 鎌倉市長谷

長谷川 宣文 淨土宗 光安寺

〃

白崎 敬戒 淨土宗黒谷見真院

京都市左京区

井桁 雄弘 淨土宗 大円寺

大阪府住吉区

成田 光穂 淨土宗 天聖寺

青森県八戸市

井桁 心淳 淨土宗 大円寺

大阪府住吉区

斎藤 キヨ 淨土宗 光明寺

兵庫県伊丹市

加門 得淨 高野真言宗妙法寺

兵庫県須磨区

昭和51年2月1日

樹谷 淳亮	本願寺派正満寺	東京都港区
村松 賢雄	〃 西教寺	東京都文京区
結城 静心	〃 称名寺	〃 〃
高辻 円雄	横須賀市野比	横須賀市野比
鎌倉 広明	〃 妙祐寺	〃 〃
山本 清淳	東京都世田谷区	東京都世田谷区
樹谷 淳宣	〃 最宝寺	〃 〃
佐藤 純英	横須賀市野比	横須賀市野比
拓植 淳一	〃 長玄寺	〃 〃
円城 紘宣	東京都港区	東京都港区
羽田 専寿	〃 正満寺	〃 〃
野々垣 智憲	東京都港区	東京都港区
上杉 泰顕	〃 樹寛寺	〃 〃
野口 隆嗣	栃木県足利市	栃木県足利市
吉田 正彰	〃 常栄寺	〃 〃
一柳 正春	東京都世田谷区	東京都世田谷区
曾我 善一郎	〃 円成寺	〃 〃
	東京都町田市	東京都町田市
	〃 宝林寺	〃 〃
	東京都練馬区	東京都練馬区
	〃 法浄寺	〃 〃
	東京都豊島区	東京都豊島区
	〃 源正寺	〃 〃
	東京都武蔵野市	東京都武蔵野市
	〃 延寛寺	〃 〃
	千葉県佐倉市	千葉県佐倉市
	〃 重恩寺	〃 〃
	群馬県桐生市	群馬県桐生市
	〃 浄栄寺	〃 〃
	東京都江東区	東京都江東区
	〃	〃
	群馬県桐生市	群馬県桐生市

芝村 智豊 〃 大正寺
東京都調布市

(事務局)
小峰 令丸 全仏組織部長
智山派 総持寺
東京都田無市

(団員パンコケ)

北脇 俊成 浄土宗西方寺
小沢 照山 浄土宗釈迦寺
二上 寛如 高野真言宗釈迦院
渡辺 提宗 臨濟宗 妙中寺
越川 康啓 大谷派 長教寺
長岡 俊猛 真言御室派正福寺
西口 公教 真言国分寺派管長
対馬 祥全 真龍寺
藤 墳 法子 淨土宗 釈迦寺
古路 陽子 真言御室派仁和寺
津川 久代 仏光寺派光専寺
川端 照道 真言御室派
橋本 慈城 新真言宗 長栄寺
上月 明紀 真言御室派京善寺
射馬 帝匡 高野真言宗
中村 一司

事務総局録事(二月)

八日 局内会議(業務始め)
九日 埼玉県仏新年会出席
十九日 宗務総長会(京都)
二十日 日宗連理事會
二十三日 仏娑修正会出席
局内会議
二十七日 組織専門委員会
二十九日 全仏理事會・評議員會
全仏新年懇親會(東京)

昭和五十一年二月一日発行
二月号 第二一五号

発行人 桜井大乗
編集人 清胤徹昭

發行所 財団法人

全日本仏教会

東京都台東区西浅草一ノ五ノ五(東京本願寺内)
電話〇三(八四三)六三四一〜三

アメリカ建国二百年祭記念

日本仏教親善使節団募集

ロマンチックな坂道の街サンフランシスコ……。シックな建物がならぶロスアンゼルス……。ネオンの美しいかがやきがまぶしいラスベガス。そして男性的な美をほこるグランドキャニオン…。常夏の島ハワイ……。建国二百年祭を飾る陽気で気さくなアメリカを散策し日米仏教親善をはたしたいものです。このチャンスに是非ご参加下さい。

実施時期 昭和51年6月1日～10日 (9泊10日)
参加費用 439,000円
募集人員 40名(定員にてメ切)
申込締切 昭和51年3月末日 (申込金5万円)

申込先 東京都中央区銀座8の11の11
近藤オリエンビル内
日通航空内(アメリカ建国二百年祭記念全日本仏教会訪米団係宛)

主催 全日本仏教会
後援 米国商務省観光局

— 旅行コース —
(6月1日)東京ーサンフランシスコーロスアンゼルスーラスベガス
グランドキャニオンーホノルル
(6月10日)東京

●詳細については 全日本仏教会国際部 03(843)6343
日通航空全仏訪米係 03(574)1244